

秋田県総合保健センターに関するサウンディング型市場調査に係るサウンディング結果（概要）の公表について

令和6年11月6日
秋田県健康福祉部健康づくり推進課

1. サウンディング実施の経緯

疾病予防のための人間ドックや健診データの処理等の業務を行い、県民一人ひとりの生涯にわたる健康の保持・増進を図る目的で設置された秋田県総合保健センターについて、令和8年度以降の指定管理者の公募要件や、運営経費の削減など効率的な管理の手法などについて広く検討するため、民間事業者の意見や提案などを伺った。

2. サウンディングの実施スケジュール

令和6年7月11日	サウンディング実施要領の公表
令和6年7月25日	説明会の開催
令和6年9月11日	サウンディングの実施
令和6年11月6日	対話結果（概要）の公表

3. サウンディングの参加者

(1) 説明会参加者 1者

(2) サウンディング参加者
保健・衛生業：1者
合計：1者

4. サウンディング結果の概要

対話の項目	対話概要
効果的な指定管理期間に関する提案	<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理期間は現指定管理期間と同じ5年が望ましいと考える。指定管理期間を延ばすことによって、中長期的な計画を立てることは可能だが、周辺環境が変化する中で10年先も指定管理応募時の体制のまま運営できるのかが懸念される。・ 5年毎の申請、手続きについては労力を要するが、その時期の状況にあった、管理項目、仕様書、指定管理料の見直しを検討し、それを踏まえて指定管理への対応を検討していくべきと考える。
申請に必要な資格要件に関する提案	<ul style="list-style-type: none">・ 本社等主たる事務所は、秋田県内に限定するのが望ましいと考える。当施設は、「県民の健康の保持増進を図る」ことを目的に設立されており、県民のデータを保持しているなど地域に根ざした法人が管理するのが望ましい。・ 健診業務の実施には、医師免許等の資格を保持する者の従事が必要である。公募の際には、こうした有資格者の雇用等を要件に含めるのが望ましいと考える。

<p>経費削減や収益向上につながる取組に関する提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドック及び会議室等の貸し出し料金については、新規受診者・利用者も一定数いることから適切であると考えている。値上げに踏み切ると受診者や利用者が減少する恐れがあり、収益向上のためには現行価格を維持すべきと考える。 ・利用頻度が低い栄養実習室を2つの部屋に分ける改修を実施し、現在ニーズが高まっている少人数の会議や研修が実施できる部屋にすることで、利用者数を増やすべきであると考えている。 ・大会議室は県内有数の広さの部屋であるが、近年経年劣化が進み、壁紙にシミが見られたり、蛍光灯の安定器からノイズが生じたりと不具合が多くなっている。大会議室は、東北や全国レベルの会議や学会で使用されることも多く、改修を実施して利便性を高めることで利用の維持・拡大を図るべきと考える。
<p>その他、意見、要望</p>	<p>【医療機器の整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務を継続するに当たって、人間ドックの際に使用する医療機器の計画的な整備を行うよう要望する。 <p>【修繕費について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設は、まもなく築40年を迎え、修繕が必要な設備が年々増加している。指定管理料に計上された小破修繕費ではまかない切れない部分も生じており、小破修繕費を増額すべきと考える。

5. サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、指定管理期間、収益向上につながる取組等の御提案をいただいた。

今後、今回のサウンディングの結果を踏まえて、事業方式や公募条件の整理・検討を進める。